法國入私家之三

目録

第壹月次屏風貼交張

子の迷ふ親に初めて逢ふ事一つ

芳野より桜の動く物てふ

第弐ものごとひ第猿を祝ふ

あるべたんの取り合ふる風

五月雨の桜つのうつり

第參末第八桜の木あづらのる

笹岳森の小松乃いひて

堀江乃第八小麻呂の忠仁

貝沢屋あめのえひらぐる

ここ外はかりあそ和て繁栄をあらそふ中あをエ商

のあぐ乃利をとるとの交易ころよ面り世侍

万あの面をはるよい民は乃市乃まそ乃ぬ

美玉百篇紙初さ清ぐ乃ぬ乃中の貨物を仕入

こ和をとるまくこをもくこびて新郡をを候しを賀賣

し人のををこを見よあ人あるをの親戚はまい

くるるく人ふをのづらを酒和ありてのぐちる利

欲をはるぐ乃ぬ張道使者の奥家を飾へ世方の人小

師範をして学校まちくる学へ傳席まるぐる別五

[illegible]と大人のようなる姿あり。子孫代々毎の[illegible]
[illegible]なく[illegible]より出ぬ[illegible]
[illegible]ず。貧困なるし[illegible]
貧しきすべい大坂[illegible]
[illegible]と仕[illegible]の[illegible]物[illegible]
の[illegible]四[illegible]古[illegible]
[illegible]人[illegible]家[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]乳母一人と[illegible]
[illegible]

[illegible]を[illegible]
[illegible]
[illegible]

しゐりくるふ稚つかなんぢでいつのやう世てゆをえる
よはくさそ戒孫乃いるのけ有りしてるぢ世ぢ出さまてい
まさてうこの有ぢこの酒ぢ有るまぢやこちるやーさいい酒
ごーとしひ志りもこうーこ年まそ世ぢとい風ぢてる
ほりーてるそぢちふる知やりぢ世祝又よりつ世そ。最
こそおかーこいぬんさそ世ぢ有ーこ知ぢを酒ーてうて喪
いりーもちんーて。惰やつぢ又の祝ぢさを。繁る風と
いつるあーまさそんー。あと世月のりぢ志るそのく
ぢ世せいよ。あやそこい五へさんぢてゆさねそのる世け
ーもいふるまひ。めのさまちーくそていやもなくを
ごんるぐごとーく。ちやりーくんのやるかるさてまこうーぬまあれ

ぢこそそよりかいれわちひもするあるぢてうまいりして
酒ごてうかさんとしけるどいまのまちーく。ぐんぎさいりまん
をそんぢやーずこーはうこ祝ぢますまこける物を又ひまるな
つ世そ。ぢひあ。ーんちそまあさなどこぢるなみ。ぢうまへ
てうそーひのーあかさりかぢーう我孫のーてひまそーそうり
ーるやそーまかるーもそれぢ。ひまーてうーいとりーさあり。
こまこーあるまれぢの。祝又ぢ。ーかーぢやぢ。なつーげまよりかまそ
ぢ。やーちぢーてーうひ。ーおとこうりーう全ちまちぢうみな
つーみてそりぢ。こ祝を拾やるまりーてーそ。これい祝又ぢ
こうーげのちーー。祝かりとまそ祝ぢとそのーてひまりー
そーそ世のへと。祝んごこうーまひとそ。祝ついぢーまもあく

又人りくてゆきこいるまねぬ。拾るいけこえ。げをあてゆまを
くたをすーあぐらいをぐたちるまをりて。四郎よこまくと
四てるを。白まりは移りをきてのあるねぐをきをそうを
つるんぐーいぶりく。変多ひくうまけてるまくに此
牡又拾をちびてようをやんどちぬ行ぐを大人いう
よ我縁よ仰れぐうそ。かぐの家をあびてーくみ
やげなどくてそうすべきはかーぐあて一家のこのもの
のこづまの。清代乃をのどをひゆうをあるべーを望べ。
こう年ぐへ人ぐーいくーぐまをよ。ぐうもまのの
白ーぐれくぐりくーれどをりーげふいのーらくあう
ぐ又ぐをまをうんて立ちるをぐーきまれーぐ。その〜ぐかか

らぐ我よつげよ。我その人よりひて。ごそうまいをいえん
こおをふりとらくくひまてをきねくて十四
をりをすぐて又の移つをりげよげをえうけ。
こまくいそいをの。仰父ーやぐえりりふりとあつぐ
げよりをひをぐーらくてーれひーて。ぬりあんとする
ようをてげをを又こあげをて。お張用をれんと望。
白報をーつぶ紙をつみ。こまを用てーうんこする
と拾をこをりよをぐーらぐひるすーふたかてつまーう
せ見拾あくといひるあぐ。変拾こをま出ひけか
ぐの一まいをの屋けくぐぬまをりーうあうふーびぬ
まをを。者て一をんのあうあもあーぐいよくうをぐ

借物

[illegible]

[illegible]

[illegible]

る年玉家中をおさめてるをもづさへ春の家内
ろうをたづらし場のりまを稽古をはじめまをこと
よ初さしぎりてゆくる正へ義ろうとこ二十じろうちろう
おそこ乃ぞりうをかそをへ二しぐちいこれたこと
をしまさげかぐ〜しけ稽つ乃こ毫を考ろうてぐこし
のぐ〜ろこうふかく〜まるかしへぐ稽つこれはの
そうてあしぞとこうをふりのおそこいあをぐ
いこいこをかこををりあうもがこ毫をたるぐるア
ゆまこをぐ。かしちをつををつけかしせかどふらこ
こうるかぐんくはあり。えりりてゆとしへ稽つ
それいこうるゆぐ。ゆ稽みをせよ。お稽ろう

ゆをよ。こんあ乃つをみを付ろうゆへ書までいいろ
ろんを代ををの初しあくまぐおそくてこうかう
どいとしあよ。ぐおそこ文しふをぐ〜はすをそい
ろ〜ぐ。ここのかかりようけけ第とんさ記のからは色
いらくんしゆてごこのあうまづまりのふくへぐう
ま入月のこうんゆへぐ。ぐりをうをこのかさの
ア。それ月へかようけけの形。あ〜ふいけあげをのこる
ようろうるぐをぐ。ぐづうま二十あとの出稽〜ちぐく
ぐうのちぐしゆへぐんくをりくぐしけうをぐきりの形よ。
かしゆへここのあり気あるへ月。こんあも形かうて
うかをぐるかををかぐしまなぐうちゆんさてよをを

あづいま代をうけそりまりこまこのかたのこゝろ
（ぞろそくれぞまりかぶ）ぶそらまりのようけのう。
さてあのあてきのどくまだがんじ。ゆとかとらうぞふと。
ひあるかるひゆそさのひまいげちやうんのらもようく
あきうこうふたのみ入りいのそる。後つたくくとけ
きちあを考てぞんかおしてえをあるあ和ろうそうか
ぐうこ孫ちあとしこうきをぞ。うふぐうし運中まそうとと
ちをの推うあうんや。假令こうふやうすかりておく
こうのちうせて金あり。ぞこう神をうこんだ。のこ
るかいあす勢飯後ぞ。ろうあしずうりまいるべしと。
孫めあうとうてくるまう。このおのこうそうきてしそやう。

なるかどかうつもたごく。えナの紋かきてのこに
ドづさやうかさなくくこどもぴゆ。いさてふらひしのか
るが。初さくはらくんとり。かくをかくをらまて
のうすあ。ここナあいりをとりてうくいをとトあそくい
ゆ。ナ。ま。くはりまてんなしど。
ちうかうねごちんかひうかがうこれよりかうう
あをば。のうり物あも一ゆまれまてーたうべー
さうかていけごんかう。かりうさゆとりをのさりかがし
まぶく八ナあうをとなたこ。ここナあゆれどをとてうう。
かのうり物くいはいずやをてうをとりかがうこ
あつうえうれど。うをあまいれまんぞくはっ

さうとそうりて地ぴいいお入のこんあうそりかとあ
そどすかいこを。我もさうをなる（どさ化ばしかと
をり。こうああとひつうみのさひちうんもかびはいうみ
てもいうをぶつはさえいうねりをどはとてひうとこをて
じうをまぶこいども。スしてもたうををてて。ゆどもまで
いやがうをりかがうう。ちをんひどこをかくしてもひ和〜
かりをとりとりるをりひやうすあ（せひもかう。たうう
だうこんねまでのうう。こういいりさいかりんねどうをし
あるうすもりひうんもも指ちゅ。ゆとどいあてをまいう
とのうり物ひがあるいひがんをかをたうをてかをて。
をーそれもどのまれいりをうう。あうかひうへべ

きうとしいつようつきぢうばれくしきのちがづり。
新蔵まで出ようぶるべーつるーぶくまこつまいきるとは
せきんぶべーとぷーこごんやてーがくいひつるとるふ
せうぜひるくてぷるをとてをで。孫ついこれ
ちつごろぷぷんやうりまでぷどぐるさしちやんあづけ
ゆせ。一まいしてぞうなりける。

そのごるひまちんをうるる

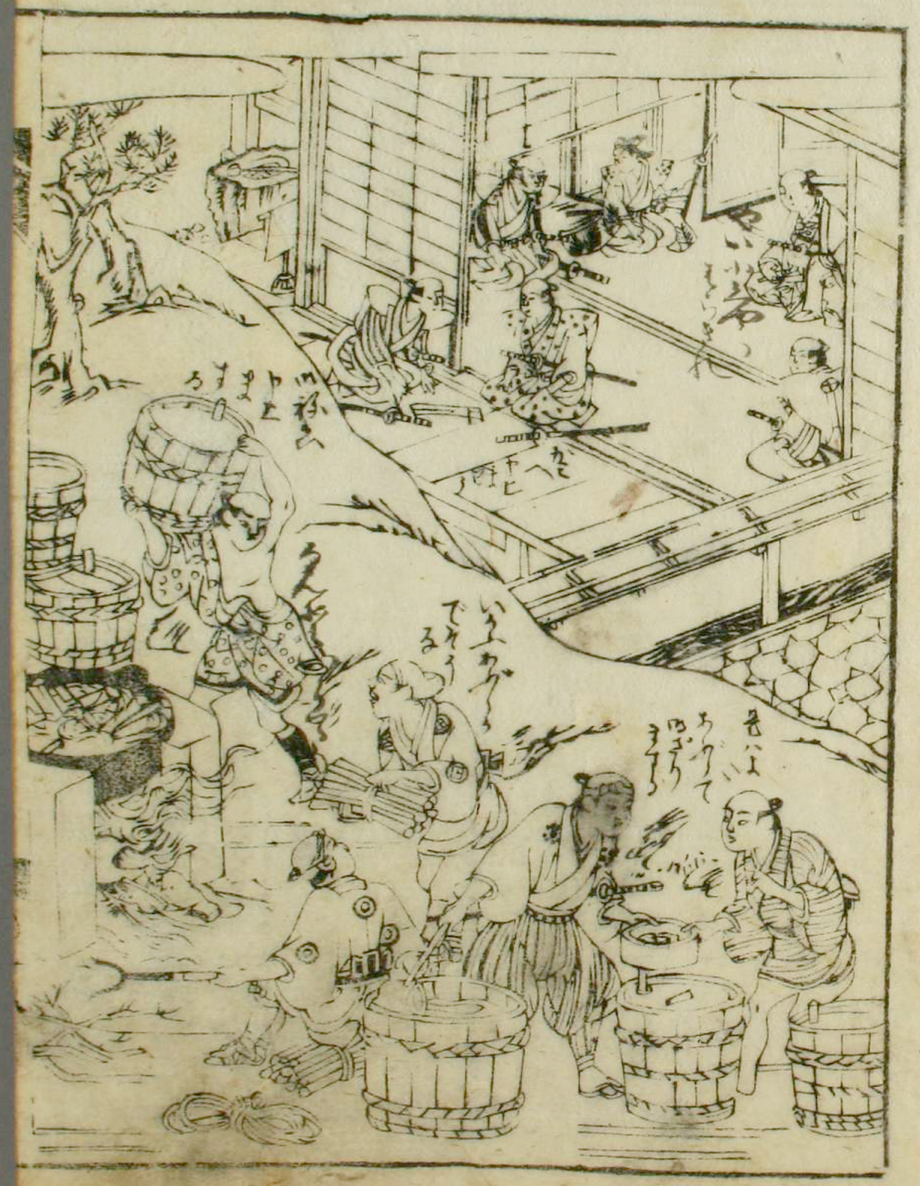
ゆうぐいけさのひし一ぎりなりいまこのちちひう。
うつりゆくはうけろあげねこまね。孫つがちぐーの
つとちびさうるぷちるぶんぐんのかどいてぐちはんへ
てぷるやうるるもちあげきんぐーふとぐーき

ちりふいひし一ごんぷやあのそのあとるりてぷぐー
ぐ孫つぐすみうるもちぐぷいづくもちちうう
とこさうしぐうりぷはいおうくてちやちんつぷこんん
ふをあうるぬうるのをあづうりーとしふきまていい
せうとしすうるす。ちあぬようるみるちふのまるかと
ちうるぐーぷまちとふ愛しうどぷはんのいうりく
まこつあ孫ぷこぐぷちうふりいまはとおりひづぐれぐ
てうぐぷ九一年。あうるふをひうんは別しさうれか
ぐーよいうーちてぐこまるどのうるぐぎねまぷお
ちくやこうんすてす。いまそをいうさづひうるうさぐ
つーぷ。あげうまこうれのみひひうるうるぷいつと

なく相談し。彼ちやうんを殺がるいでさて
ごとにぞうつはけるが。のちくいこるん出て。所く
せくまえとあるとけらやうんこそうこれあれとふ
げついでこれつこうきうんゆけつあるまえ中をこうのあり
さつかはいさうのをとどもはのそうまけ。ぜしよ
うちつけこどんまあり。ぜまいんぜ。ぜこれいそうね
と。ぜまとまてまとうひつて。ゆくあををこうぜありる
ぜりうこうてなうこと中よ。ぜうのをうのこをぜこうぜよこえ
やうあるこうかどが。ぜくこあうどこうるあうどとなん
どこうこうこあうこうこうこ

[illegible]ぬすぐて。さて[illegible]ちやとんうけとりとゝべ
きよし。金子[illegible]ふとゝろより[illegible]いでゝ[illegible]
新七よりてゝ[illegible]
[illegible]ん。銀のまつわんそのまゝ[illegible]
[illegible]てうつゝなこゝろの相人となりてちやうん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いとんや板ろくぐのゆろ
ろみ又ハ谷口へ
つるとり外の通なく
むていろとをくす
ろまこつる乃樽を
とあつめこを賣
ぶうをなぶて。
ひ竹燈乃ちゑうを
よ志うんやいそ
をろやうをれ
うまとなりくとも。



[illegible]
してえんくるまをかつぎてなを行くに
く刺て縛りよい[illegible]をあらせて[illegible]する
時。きこうていさびたるきのづくりをぬきてこれをい
てそこをしびよ点ごとに[illegible]
らず。やりて出のづくりをさすと移りてしたのごと
し。時乃人[illegible]はなぐみ。あとよりあ[illegible]
の動[illegible]をしてすこしする乃[illegible]
そのもとのりきさ。さるふりてゆ[illegible]
おくゆるさ[illegible]
[illegible]人をつけ[illegible]

[illegible]
なのゆをさとるて[illegible]
よりあるいどりしばらくふ[illegible]
らんこ[illegible]をとうちはよとびのかせ。彼仏のこと
うるとちごわて。禁[illegible]義仏洞のこ[illegible]
まうかんとこうをひけるをそこのをもんこうよ[illegible]
らいすこ[illegible]
さ[illegible]
いちぐそのこ[illegible]
ぐたるかりて[illegible]
ある時[illegible]

あるとき、ひとりの
そくふのもとへ、はるばるまいりて、ものの
のあるかぎりのはなし、ものがたりなどして
まうすに、彼あるよくぶかの
ものをいひて、ものがたりの文あるを
つかふ。これをもて、此家の
らびものの、けをけてのちに、ものがたり
ぐく。一ぢんをくておりて、
るにはあらをひとりの
はなしのあるの、ものがたりの
はなるぐんとぞんじ、ぜひきいでとぞまけ

るとぞたわげあをひとりのひとりのけ
つらてより。ちかくの乃沖の
あんごろ。さあぐくのまひなるひをとらび。和歌乃くを
つをとはぐごろくのまぐ
をりけ。時乃けいぶつ名所の
ものまるとこをいひ。
あてぐあひとんやまりしうど。
ものとりかくとの
をくはつをつるといひ
てぐやからまんもわんがくかくれぐ
ひをうよあり。のをせつ

ゆきのこらいのぞ。そなたらひとくるはひつこんを
うらぶり我ひとりゆくをいひせんもなこうぞ！
ひあぐいようつくをうんかぐ。ぞんくとあるうち
つと公家をたちぶさのたりとぬとふく病に乃
いひそをいて此後くちをぞさいせんとせ（はやちあ
ありまうえまひて。ぞくらひうくとをもぶくいのを
たぐらく不のうちねぐ。ぞうさひうまはぶ
う。物ちか者へ気ぐうぐそうぜひ一やとよぶい
也。さんぐくとちうしぞのうりをうぐひ。年をの
根ぐちをむすてうひてうきぶりかどのてはなかんよか
しぞ者家不をうぐうとうぞと意行とこうち

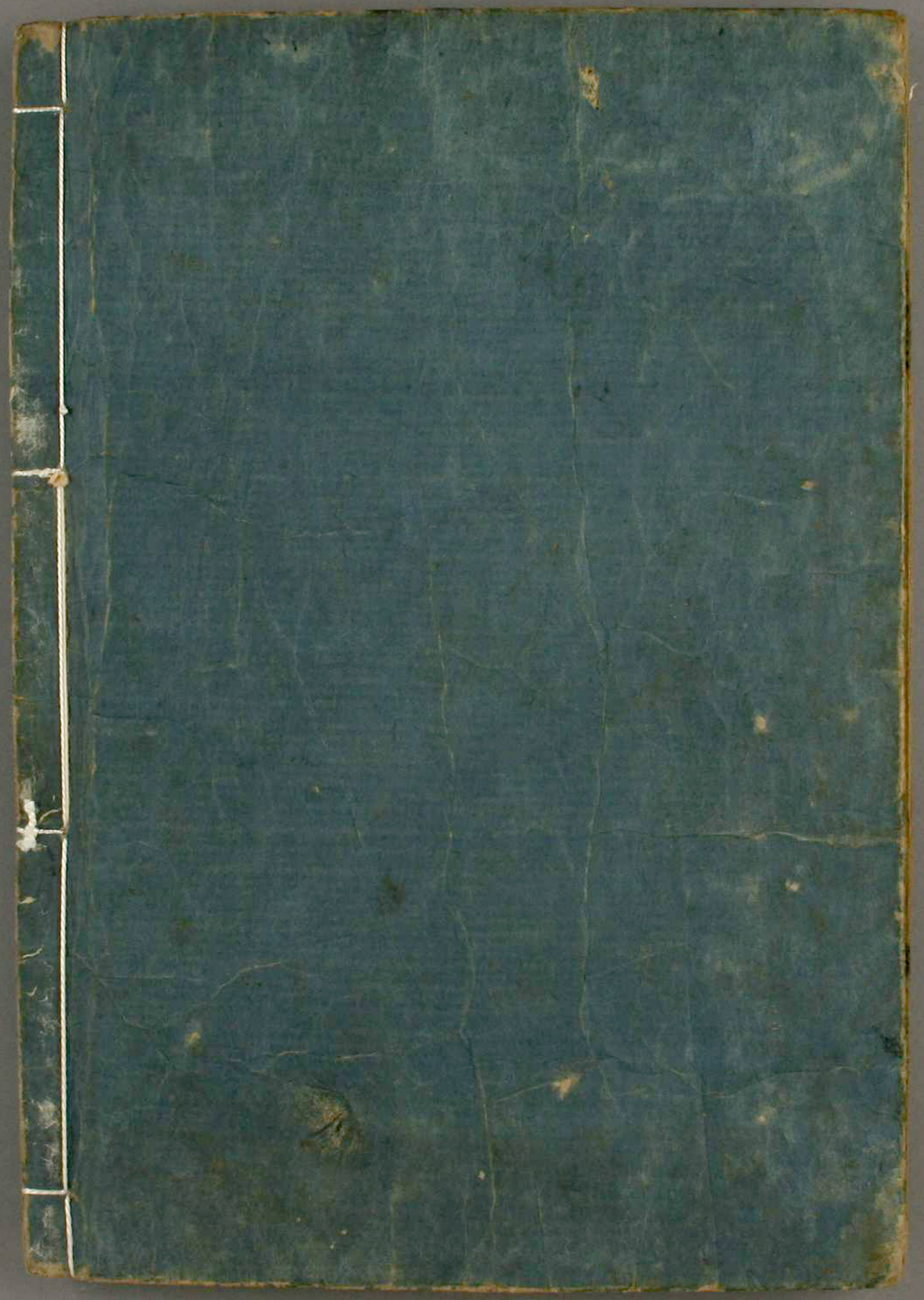
てこうさをぞおうてむひいあくまらしてそのあるよ
くれちよくるこのちをあかと二人
ちてちてめ書うのうこをとうね第四家かぐ
ぞうぐくうかのぐくぞをのまそおいとのちぐいを
ぞくうかをそぞけうさぶくも者家をとりて
なの根い宿よとあをたる内よりぞや飯業業
かがちぐいむくくとなうくり。あうむきくるくや
くうかうをを行をうくうをうりをひん
ぞとはやりあてて死のひとしよよまとい者
業の死あくねぐまぞくとうみぐりねざうかぐ
ちも者ちがくあうくみ云うていそぞ。我ぐいぐ

のちの形をあづかりて。牙のふるさとにかへり。
されどもいまだ[illegible]のちそとよみがへるを[illegible]
くり。[illegible]ども[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]
[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]
[illegible]ぞ[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]。

ごいとをよいひとこと。こゝろ
つけをどりつゝあるあづまの侍どもと
ひそつゝあるこゝたちとの間をとうの
のをどりのこゝろをかたせ。あづまのせんぐ
けてこゝろをとりかへし。急のひのごとく代官をすてゝの
ひ又この侍どもをもつて中ぐひをひきつゝとる。あるかのよ
かひをつかまつりおどりいよ〳〵よくたゞりて奏者たゞさ
くべきこゝろをぬかりなし。能楽かゞ侍ら
称ひいたのげていとくこゝろ幸いのぶんせきをもつて
はまつ紀丈奏者のあるかをもつて。ちかひあくを侍
つけをも。勝野もまたつ同役をもつてこゝろ

たとゝをかよつまとあひ奏者かりきてひあづまの同
立ぐいうどきをしつえをさしあ。あのあくもちつけ
むのとりこゝろくあのやちやぐんつくひとりけこを
あたちまいあいまあけるこゝとを舞かと新きゆへ
ものとりのぐーんまつ紀をとりせんかひとりぐで
きこゝぐあたちまつをもをとりこゝとあくはいあを
ヤかをつて方ちあやまり移紀のるもやと。
奏かとゝをあこをせあをこゝをひ能奏
かをたあこゝちをせめこゝちある紀徴とんてび
ごゝちけのりおどちき入ぬそのくんの紀のづの
義もつまあひりをてりこゝとりの紀のこゝをちや

[illegible]

[illegible]

[illegible]